

DENON

AM-FM ステレオ チューナー TU-1500AE

取扱説明書

はじめに	安全上のご注意	2 ~ 5
	取り扱い上のご注意	6、7
	付属品について	7
	各部の名前	8 ~ 10
	リモコンについて	11
接続	接続のしかた	12、13
操作のしかた	電源の入れかた	14
	ラジオ放送の聞きかた	14 ~ 17
その他	故障かな?と思ったら	18
	保証とサービスについて	18
	主な仕様	19

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

はじめに

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、
電源プラグをすぐに抜く



電源プラグを
コンセント
から抜け

煙が出ている、変なおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように



雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、
改造したりしない



内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

警告 つづき

安全上お守りいただきたいこと

ご使用は正しい電源電圧で



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら



アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない



電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は



まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

安全上お守りいただきたいこと

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない



電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。



また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない



火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない



万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

付属の電源コードを使用する



他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。



また、付属の電源コード以外には使用しないでください。

電流容量などの違いにより火災・感電の原因になることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

注意 つづき

電源プラグを抜くときは



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電池を交換する場合は



極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする



突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する



テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

置き場所について

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
湿気やほこりの多いところ
直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する



壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意 つづき

取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



あお向けや横倒し、逆さまにする
押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない



機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は



まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は



安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

取り扱い上のご注意

結露現象について

結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。

結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



結露後の処置は

結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1~2時間で使用できるようになります。

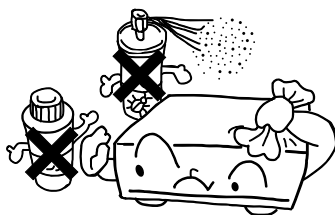
ディスクに露が付いている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



メモ

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

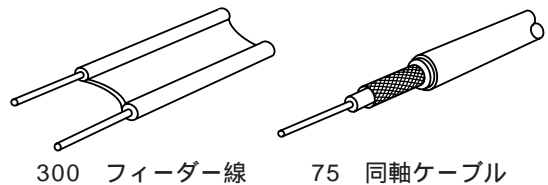
設置の際のご注意

本機やマイコンを搭載した電子機器を本機以外のチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナーやテレビの音声や映像に、雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には次の点に注意してください。

本機を本機以外のチューナーやテレビからできるだけ離してください。

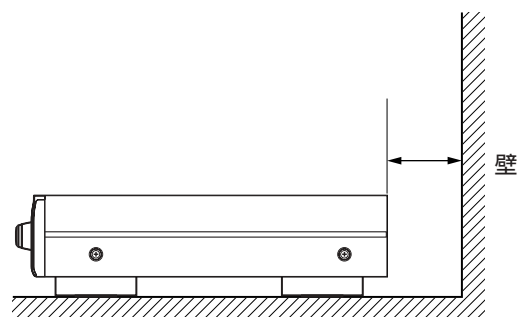
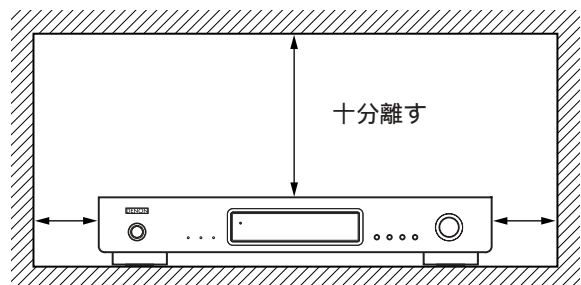
本機以外のチューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。

特に室内アンテナや300 フィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75 同軸ケーブルのご使用をおすすめします。



300 フィーダー線 75 同軸ケーブル

放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他のAV機器などとは十分離して設置してください。(下図参照)



携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

使わないときは

ふだん使わないとき

電源を切ってください。

外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



その他のご注意

説明のためのイラストは、原型と異なる場合があります。

取扱説明書を保存してください。

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくとう便利です。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。

隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。

ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

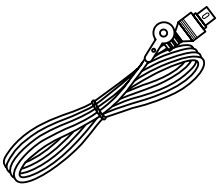
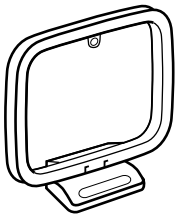
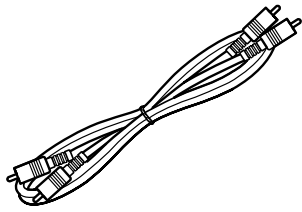
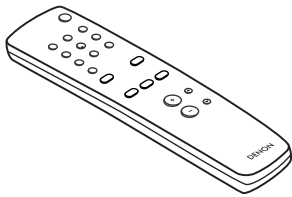
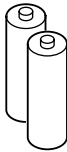
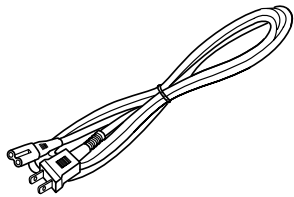
特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

付属品について

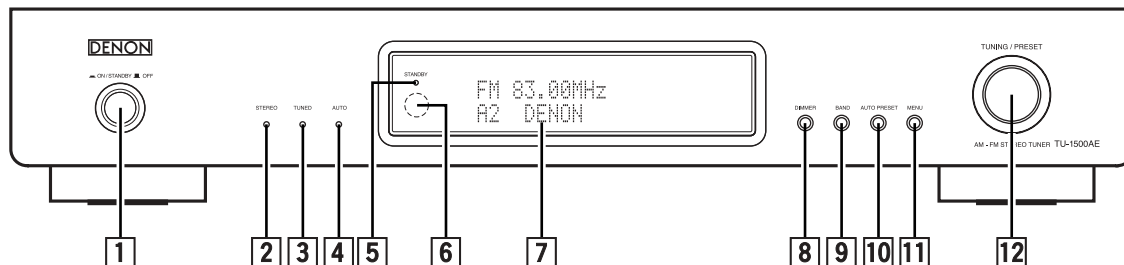
本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用前にご確認ください。

FM用アンテナ 	1本	AM用ループアンテナ 	1個	ピンコード 	1本
リモコン（RC-1027） 	1個	単4形乾電池 	2本	電源コード（本機専用） 	1本
取扱説明書（本書）	1冊	製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表	1枚	保証書（本体部の梱包箱に貼り付けられています。）	1枚

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については()内のページを参照してください。

フロントパネル



1 電源ボタン (ON/STANDBY)

押すと電源が入り、ディスプレイが点灯します。数秒のミュート後に本機は正常動作になります。もう一度押すと電源が切れて“スタンバイ”状態になり、ディスプレイが消灯します。

2 ステレオ表示 (STEREO)

AUTOモードにおいて、ステレオ放送受信時に点灯します。

(15ページ)

3 TUNED表示 (TUNED)

受信周波数の受信状態が実用レベル以上のときに点灯します。

(15ページ)

4 チューニングモード表示 (AUTO)

オートチューニングモードのときに点灯します。

(15ページ)

オートプリセット動作中は点滅します。

(14ページ)

5 スタンバイ表示 (STANDBY)

本機の電源が“ON”または“スタンバイ”状態のときに点灯します。

6 リモコン受光部

リモコンの受光部です。

7 ディスプレイ

8 明るさ調整ボタン (DIMMER)

ディスプレイの明るさを3段階に調整できます。押すたびに明るさが、高 中 低の順に繰り返し切り替わります。

9 FM/AMバンド切り替えボタン (BAND)

押すたびに、FM AMの順に受信バンドが切り替わります。

(15ページ)

10 オートプリセットボタン (AUTO PRESET)

FMバンドに設定している状態で押すと、ステレオで受信可能な放送局を自動的にサーチし、最大100局まで自動でプリセットチャンネルに登録します。(A1チャンネルから順に登録されます)

(14ページ)

11 メニューボタン (MENU)

MENU ボタンを押すとMENUモードに入ります。

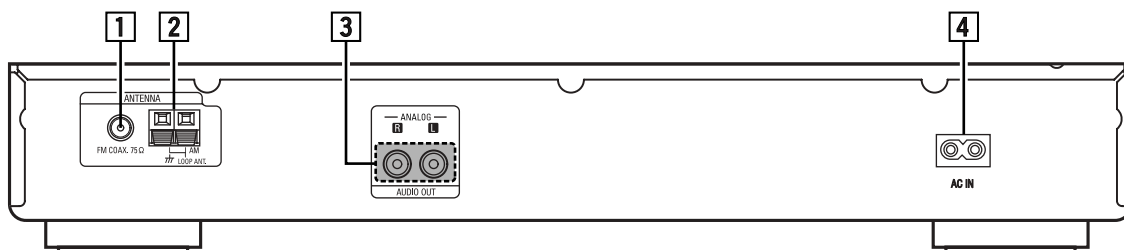
(16、17ページ)

12 選局ダイヤル (TUNING/PRESET)

選局モードの時に周波数のアップまたはダウンを行います。時計方向に回すと周波数がアップし、反時計方向に回すと周波数がダウンします。また、**MENU** ボタンと組み合わせてモード設定の切り替えにも使用します。

(16、17ページ)

リアパネル



1 FMアンテナ端子 (FM)

(☞ 12、13ページ)

2 AMアンテナ端子 (AM)

(☞ 12、13ページ)

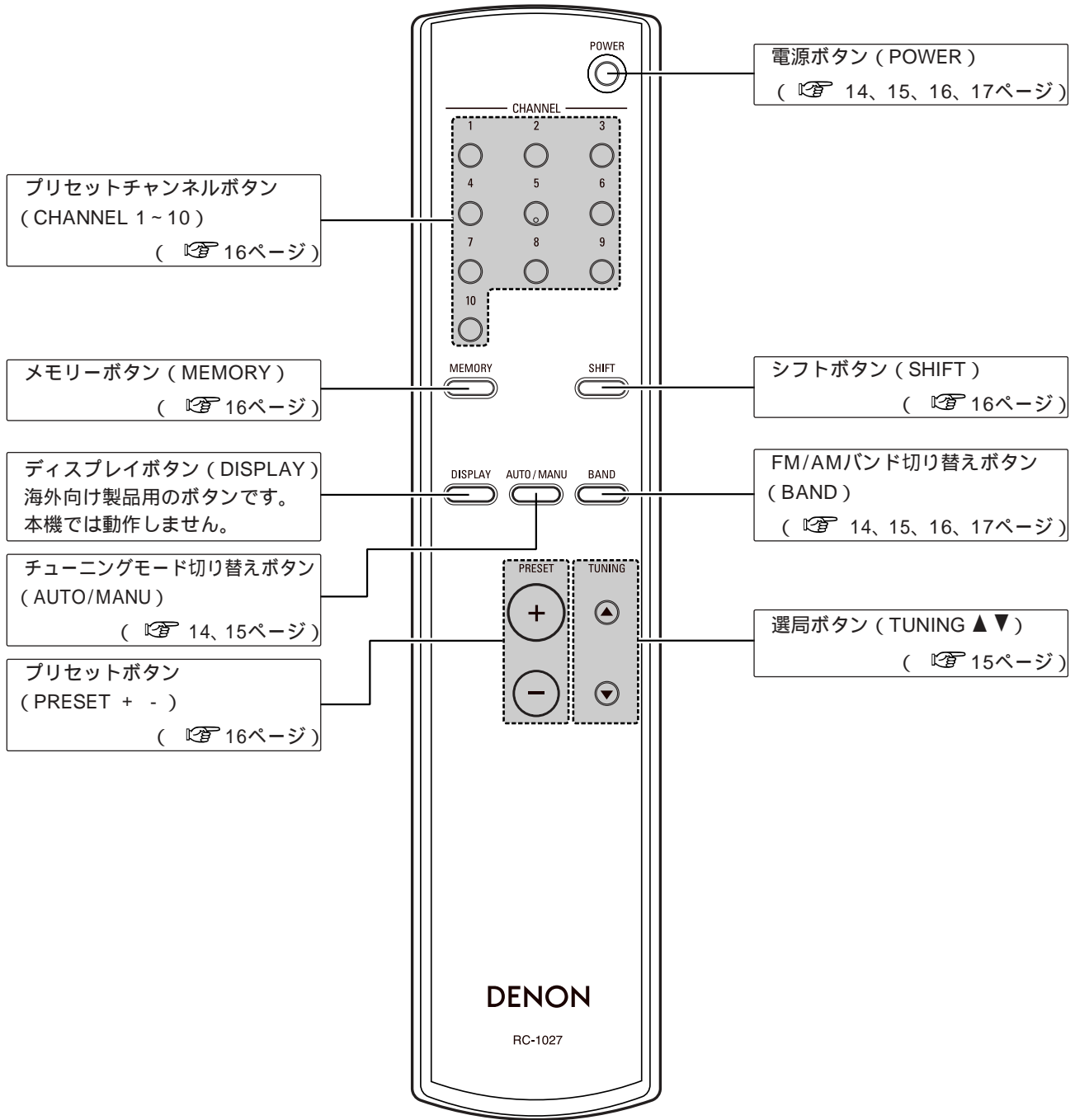
3 音声出力端子 (AUDIO OUT)

(☞ 12ページ)

4 電源入力端子 (AC IN)

(☞ 12ページ)

リモコン

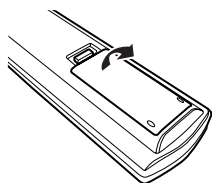


リモコンについて

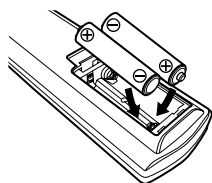
付属のリモコン（RC-1027）を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

乾電池の入れかた

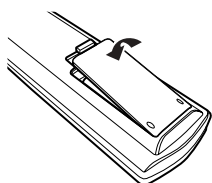
リモコンの裏ぶたを外してください。



単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。



裏ぶたを元通りにしてください。



乾電池についてのご注意

リモコンには単4形乾電池をご使用ください。リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）

乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。

破損・液漏れの恐れがありますので、

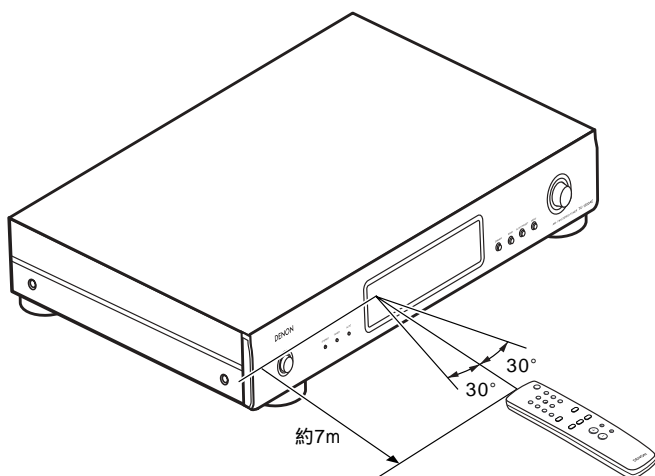
- ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。

- ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。

リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた



リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。

直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていませんと受信距離は短くなります。

リモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。

ご注意

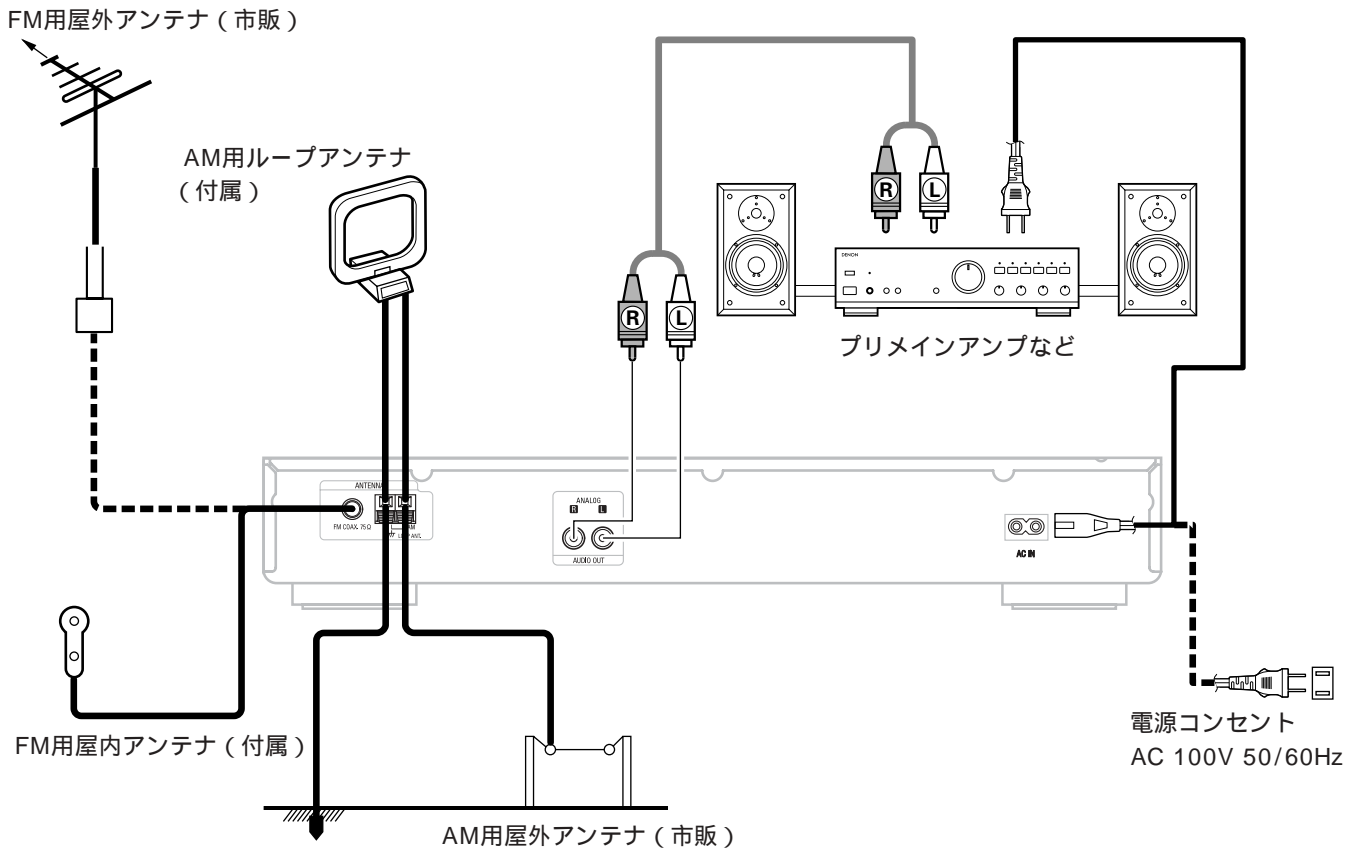
リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。

本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

接続

接続のしかた

電源コンセント、アンテナの接続とオーディオ機器のつなぎかた



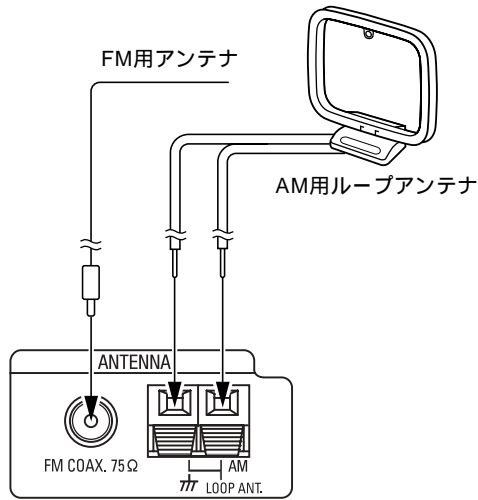
ご注意

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
電源プラグはしっかり差し込んでください。
不完全な接続は、雑音発生の原因となります。

接続コード (ピンコード) と電源コードを一緒に束ねたり、テレビなど他の電気製品の近くに接続コード (ピンコード) を設置すると、ハムや雑音の原因となることがあります。

FM用屋内アンテナの設置方法

FM放送を受信 (14ページ) し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置にアンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。付属のFM用アンテナは電波が十分強い場所などでの一時的な受信のためのものです。良好な受信のためには、FM用屋外アンテナを使用した75 同軸ケーブルの接続をおすすめします。



FM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のFM用アンテナで放送がきれいに受信できないときはFM用屋外アンテナを使用し、同軸ケーブルに市販の変換アダプターをつないで、本機のFMアンテナ端子 (FM COAX. 75) に接続してください。

屋外アンテナを立てる場所について

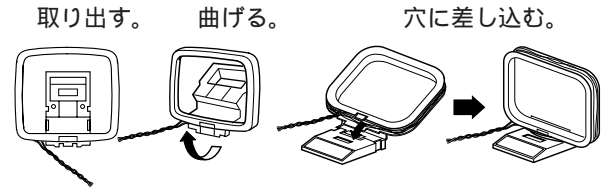
放送局の受信アンテナがある方向に立てます。ビルや山のかげなどでは、最も良く受信できる場所に立てて方向を変えてください。送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れたところへ立ててください。落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。

AM用ループアンテナの設置方法

AM放送を受信 (14ページ) し、音を聞きながら本機からできるだけ離して歪みや雑音の最も少ない位置に設置してください。接続の極性を逆にした方が良い場合もあります。AM用ループアンテナを接続しなかったり、また接続しても金属部分に接近していると、AM放送を良好に受信することができません。

AM用ループアンテナの組み立てかた

AM用ループアンテナをアンテナスタンド部に挿入して下図のように組み立ててください。



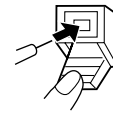
AM用ループアンテナのつなぎかた

付属のAM用ループアンテナを図のようにアンテナターミナルに接続してください。

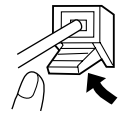
レバーを倒します。



アンテナ線を差し込みます。

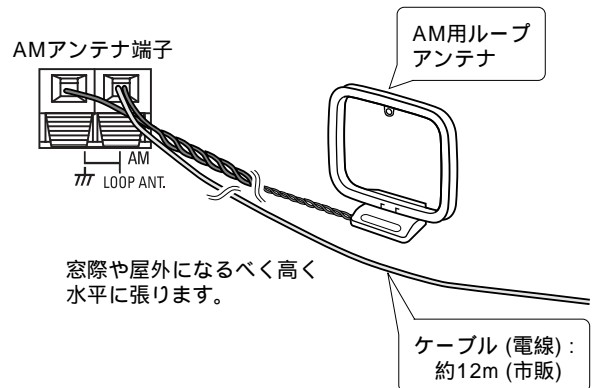


レバーを戻します。



AM用屋外アンテナのつなぎかた

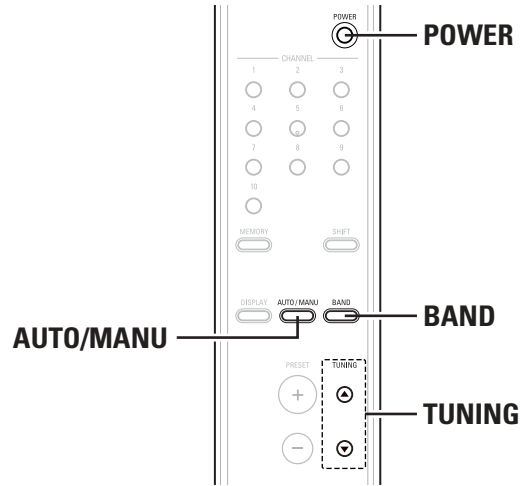
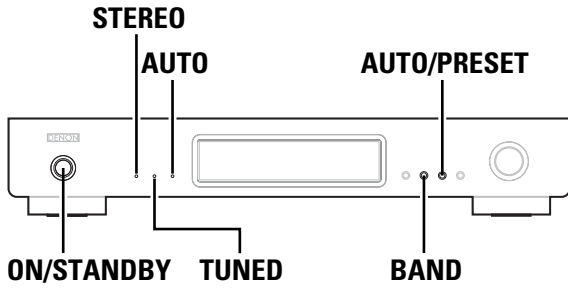
付属のAM用ループアンテナは取り外さないで、一緒に接続しておいてください。



ご注意

ガス管に接続して大地アースをとるのは、大変危険ですのでおやめください。

操作のしかた



電源の入れかた

電源を“ON”にするには

ON/STANDBY または **POWER** ボタンを押す。
ディスプレイが点灯し動作状態になります。

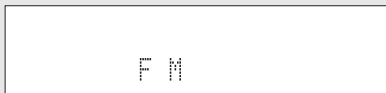
電源を“スタンバイ”にするには

電源“ON”の状態から **ON/STANDBY** または **POWER** ボタンを押す。
スタンバイ状態になります。

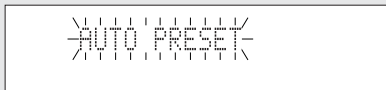
ラジオ放送の聞きかた

オートプリセットのしかた (FM放送のみ)

1 BAND ボタンを押して、“FM”を選択する。



2 AUTO PRESET ボタンを押す。



オートプリセットモードになり、AUTO表示が点滅します。
FM放送局を自動的にサーチして、プリセットチャンネル“ A1 ”から順に記録します。
プリセットチャンネルはA1～A10、B1～B10、C1～C10、D1～D10、E1～E10、F1～F10、G1～G10、H1～H10、I1～I10、J1～J10の順に最大100局まで記憶可能です。
オートプリセット動作が終了すると、プリセットチャンネル“ A1 ”を選局した状態になります。

メモ

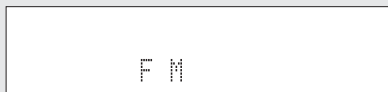
オートプリセット機能でプリセットできる放送局は、ステレオで受信できる放送局のみです。
電波が弱くステレオで受信できない放送局は、手動でプリセットしてください (P. 16ページ)。

出荷時のプリセットチャンネル設定

プリセットチャンネル	
A1～A10	76.0/83.0/89.0/108.0/90.0/90.0/90.0/90.0/90.0/90.0MHz
B1～B10	522/603/999/1404/1629KHz、90.0/90.0/90.0/90.0/90.0MHz
C1～C10	90.0MHz
D1～D10	90.0MHz
E1～E10	90.0MHz
F1～F10	90.0MHz
G1～G10	90.0MHz
H1～H10	90.0MHz
I1～I10	90.0MHz
J1～J10	90.0MHz

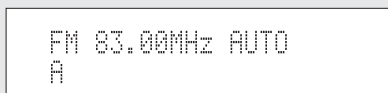
FM/AM放送の選局のしかた (オートチューニングモード)

1 BAND ボタンを押して、“FM”または“AM”を選択する。



2 AUTO/MANU ボタンを押して、“AUTO”を選択する。

オートチューニングモードになると、ディスプレイの周波数表示の右側に“AUTO”の文字が表示されます。



3 TUNING ▲、▼ ボタンを押す。

オートチューニングを開始します。

TUNING ▲ ボタンを押すと高い周波数へ、**TUNING ▼** ボタンを押すと低い周波数へ自動的に周波数が切り替わります。

メモ

受信した電波が実用レベルのとき **TUNED** 表示が点灯して、チューニング動作が止まります。

FMバンドでステレオ放送を受信すると **STEREO** 表示が点灯します。

本機はFMワイドバンド仕様で、通常のFM放送のほか、テレビ1～3チャンネルの音声（モノラル）の受信ができます。

テレビ音声は、次の周波数で受信できます。

1チャンネル：FM95.75MHz

2チャンネル：FM101.75MHz

3チャンネル：FM107.75MHz

FM/AM放送の選局のしかた (マニュアルチューニングモード)

1 BAND ボタンを押して、“FM”または“AM”を選択する。

2 AUTO/MANU ボタンを押して、“マニュアルチューニングモード”を選択する。

マニュアルチューニングモードになると、ディスプレイの周波数表示の右側の“AUTO”の文字が消えます。



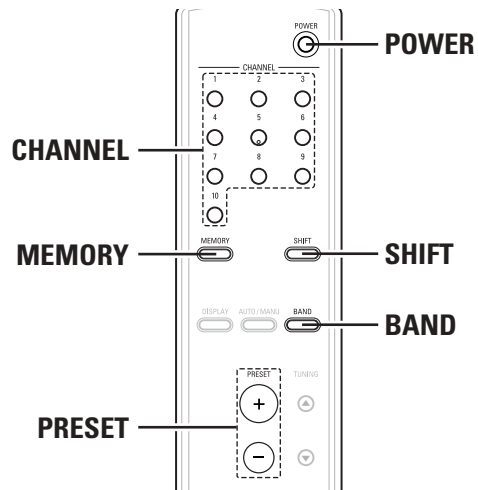
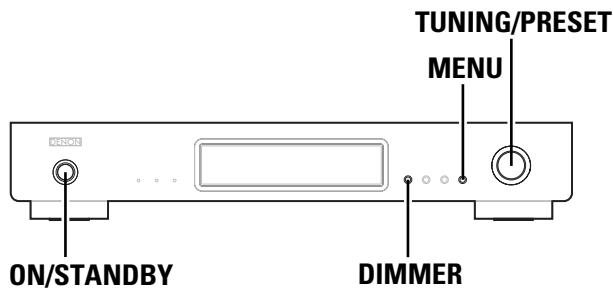
3 TUNING ▲、▼ ボタンを押す。

TUNING ▲ ボタンを押し続けている間は高い周波数へ、**TUNING ▼** ボタンを押し続けている間は低い周波数へ周波数が切り替わります。

メモ

マニュアルチューニングモードは、オートチューニングモードで受信することができない弱い電波を受信するときに使用します。

マニュアルチューニングモードでは強制的にモノラルに設定され、FMバンドでステレオ放送を受信しても **STEREO** 表示は点灯しません。



FM/AM放送局のプリセットのしかた

あらかじめプリセットしたい放送局を選局しておきます。

本体での操作のしかた

- 1 **MENU** ボタンを押す。
5秒間メニューを表示します。
- 2 メニューの表示中に **TUNING/PRESET** ダイアルを回して “Memory” を選び、**TUNING/PRESET** ダイアルを押す。
プリセットモードになり、プリセットチャンネル番号が約15秒間点滅します。

Please Select
Memory

プリセットチャンネル番号

AM 99.9kHz AUTO

“10”...チャンネル番号(1~10)

“A”...メモリーブロック(A~J)

- 3 プリセットチャンネル番号の点滅中に **TUNING/PRESET** ダイアルを回して、プリセットチャンネル番号を選択する。

A1 ↔ A2 A10 ↔ B1 ↔ B2 J9 ↔ J10

- 4 **TUNING/PRESET** ダイアルを押す。
選択したプリセットチャンネル番号に選局中の放送局が記憶されます。
さらに他の放送局をプリセットしたい場合は操作1~4を繰り返してください。
FM/AM合わせて最大100局をプリセットできます。

メモ

すでにプリセットされている番号にプリセットすると、前のメモリーは消去されて、新しい放送局がプリセットされます。

リモコンでの操作のしかた

- 1 **MEMORY** ボタンを押す。
プリセットモードになります。
- 2 プリセットチャンネル番号を選択する。
SHIFT ボタンでメモリーブロックを、**CHANNEL** ボタンでチャンネル番号を、それぞれ選択します。
PRESET + - ボタンでも選択できます。
- 3 **MEMORY** ボタンを押す。
放送局がプリセットされます。

プリセットした放送局の聞きかた

本体での操作のしかた

- 1 **MENU** ボタンを押す。
- 2 **TUNING/PRESET** ダイアルを回して “Search Mode” を選び、**TUNING/PRESET** ダイアルを押す。
- 3 **TUNING/PRESET** ダイアルを回して “Preset” を選び、**TUNING/PRESET** ダイアルを押す。
プリセットサーチモードになります。

Please Select
Search Mode

Search Mode
Preset

- 4 **TUNING/PRESET** ダイアルを回して、プリセットチャンネル番号を選択する。

FM107.95MHz AUTO
A1

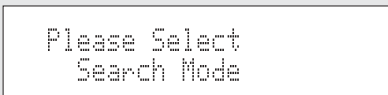
リモコンでの操作のしかた

プリセットチャンネル番号を選択する。
SHIFT ボタンでメモリーブロックを、
CHANNEL ボタンでチャンネル番号を、それぞれ選択します。
PRESET + - ボタンでも選択できます。

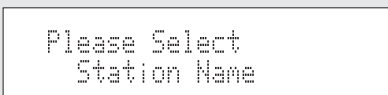
放送局名の登録のしかた

1 放送局名を登録したい放送局を選局する。
 [例] プリセットチャンネル“ A2 ”に放送局名 DENON を登録する。

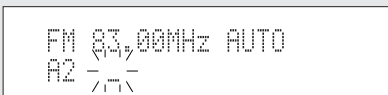
2 **MENU** ボタンを押す。



3 **TUNING/PRESET** ダイアルを回し、“ Station Name ”を選択する。



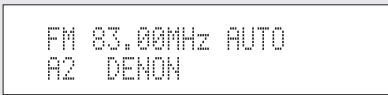
4 **TUNING/PRESET** ダイアルを押す。
 放送局名入力モードになります。



5 **TUNING/PRESET** ダイアルを回すか、**PRESET** ボタンを押して“ D ”を選択する。

6 **TUNING/PRESET** ダイアルを押して、“ D ”を確定する。

“ _ ”の点滅が次の文字位置に移動します。
 操作**5**、**6**を繰り返して、“ E ”、“ N ”、“ O ”、“ N ”の順に入力します。
 (最大8文字まで入力できます。)



7 **TUNING/PRESET** ダイアルまたは**MEMORY** ボタンを押して、プリセットチャンネル“ A2 ”を点滅させる。

“ _ ”が点滅しているときに**TUNING/PRESET** ダイアルを2秒以上押すか、**MEMORY** ボタンを押してもプリセットチャンネル“ A2 ”が点滅します。

8 プリセットチャンネル“ A2 ”が点滅している状態で **TUNING/PRESET** ダイアルを押すか、**MEMORY** ボタンを押す。

入力した放送局名が記憶されます。
 FM/AM合わせて100局まで最大8文字の局名を登録できます。
 下記の63種類の文字が使用できます。
 入力した文字を消す時は、“ _ ”(スペース)を上書きします。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 XYZ0123456789[\]^_!#"\$\$%&'()*
 +,-./:;<=>?(space)

ラストチャンネルメモリーについて

次回電源を“ ON ”にした場合は、電源を“スタンバイ”する前の状態(バンド、周波数、プリセットチャンネル番号、モード設定など)になります。

この機能にはバックアップメモリーを使用しています。メモリーの内容は電源コードを抜いてから約1週間程度保持されます。(機器の使用年月により保持される時間が短くなる場合があります。)

マイコンの初期化について

ディスプレイの表示や動作が正常にでないときは、下記の操作でマイコンの初期化を行ってください。

1 **ON/STANDBY** または **POWER** ボタンを押して“スタンバイ”状態にしてから、電源コンセントから本機の電源コードを抜く。

2 **DIMMER** ボタンと **BAND** ボタンを同時に押しながら、本機の電源コードをコンセントに差し込む。

3 ディスプレイの表示が約1秒間隔で点滅しているのを確認したら、2つのボタンから指を離す。
 マイコンが初期化します。

メモ

操作**3**の通りにならない場合は、操作**1**からやり直してください。
 マイコンが初期化されると全ての設定は工場出荷時の設定になります。

その他

故障かな？と思ったら

故障？ と思っても、もう一度確かめてみましょう

各接続は正しいですか
取扱説明書に従って正しく
操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客さま相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現象	原因	処置	関連ページ
電源が入らない。	電源プラグが電源コンセントから外れていませんか。	電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。	12
FM放送に“ザー”という雑音が入る。	アンテナケーブルが正しく接続されていますか。 アンテナの方向が悪くありませんか。 放送局の電波が弱くありませんか。	アンテナケーブルを正しく接続してください。 機器の配置や接続コード、アンテナなどの位置や向きを変えてください。 屋外アンテナを接続してください。	12、13
AM放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	テレビなどから雑音が入っていませんか。または、放送局の干渉音が聞こえませんか。	テレビを消してください。 AM用ループアンテナの位置や向きを変えてください。 屋外アンテナを接続してください。	12、13
AM放送に“ブーン”という雑音（ハム）が入る。	電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受けていませんか。	電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。 屋外アンテナを接続してください。	12、13

保証とサービスについて

- ① この商品には保証書が添付されております。保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。詳しくは、保証書をご覧ください。修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- ③ 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理致します。
- ④ 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- ⑤ お客さまにご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ⑥ この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
- ⑦ 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。当社製品のお問い合わせについては、お客さま相談窓口にご連絡ください。詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

主な仕様

FM部

受信周波数範囲	76.0 ~ 108.0MHz
アンテナ端子	75
実用感度	1.2 μ V/75 (12.8dBf)
周波数特性	20Hz ~ 15kHz + 0.5、-0.5dB
S/N比	ステレオ：70dB モノ：75dB
全高調波ひずみ率	ステレオ：0.2% (90%変調時) モノ：0.2% (100%変調時)
ステレオセパレーション出力(100%変調時)	1kHz：45dB 1.0V

AM部

受信周波数範囲	522 ~ 1629kHz
アンテナ	ループアンテナ(付属)
実用感度	18 μ V
出力(30%変調時)	0.3V

リモコンユニット部	RC-1027
リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC3V 単4形乾電池2本使用
質量	105g (乾電池を含む)

その他

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	7W (電気用品取締法による)
最大外形寸法	434(幅) × 73(高さ) × 284(奥行き)mm (フット、つまみ、端子を含む)
質量	3.6kg

EIAJ：(社)電子情報技術産業協会(略称：JEITA)が制定した規格です。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

本機は国内仕様です。

必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。

AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



株式会社 **デノン** コンシューマー マーケティング

本 社 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター TEL : 03 - 6731 - 5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、12 : 45 ~ 17 : 30

(弊社休日および祝日を除く、月 ~ 金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先(サービスセンター)については、次の URL でもご確認できます。

<http://denon.jp/info/info02.html>

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名 : 電 話 (- -)

ご購入年月日 : 年 月 日